

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年4月14日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期（自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）
【会社名】	旭化学工業株式会社
【英訳名】	ASAHI KAGAKU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉浦 武
【本店の所在の場所】	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
【電話番号】	（0566）92-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	総務部次長 松尾 陽介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期 連結累計期間	第54期 第2四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自2018年 9月1日 至2019年 2月28日	自2019年 9月1日 至2020年 2月29日	自2018年 9月1日 至2019年 8月31日
売上高 (千円)	4,154,341	4,299,632	8,509,929
経常利益 (千円)	83,657	95,266	191,823
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失() (千円)	36,644	40,199	273,492
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	43,407	51,236	402,926
純資産額 (千円)	4,235,171	3,897,837	3,865,968
総資産額 (千円)	5,754,463	5,281,012	5,211,073
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額() (円)	11.35	12.45	84.73
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	73.60	73.81	74.19
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	71,106	32,579	203,927
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	138,903	271,773	294,653
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	13,202	21,151	23,929
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,069,235	690,991	1,015,697

回次	第53期 第2四半期 連結会計期間	第54期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年 12月1日 至2019年 2月28日	自2019年 12月1日 至2020年 2月29日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.38	7.84

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、製造、販売等に影響が出始めております。当社グループの業績および財務状況にも影響を及ぼす可能性があり、引き続き注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税により個人消費が落ち込みました。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で世界経済の停滞は避けられなくなっております。当社グループの主な販売先であります電動工具業界、自動車業界におきましても、これらの影響を強く受け先行き不透明な状況であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42億99百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益71百万円（同61.2%増）、経常利益は95百万円（同13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（同9.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（イ）日本

国内は、自動車部品の受注が増加し、売上高は21億47百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、営業損失は27百万円（前年同四半期は営業損失54百万円）となりました。

（ロ）中国

中国は、受注増加により売上高は19億13百万円（同0.9%増）となり、営業利益は1億42百万円（同5.3%減）となりました。

（ハ）タイ

タイは、売上高は2億72百万円（同1.5%減）となり、営業損失は44百万円（前年同四半期は営業損失54百万円）となりました。

財政状態の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比べ69百万円増加し52億81百万円（前連結会計年度末比1.3%増）となりました。これは主に現金及び預金が60百万円、長期預金が63百万円それぞれ減少しましたが、受取手形及び売掛金が1億22百万円、たな卸資産が49百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ38百万円増加し13億83百万円（同2.8%増）となりました。これは主に買掛金が19百万円、賞与引当金が28百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ31百万円増加し38億97百万円（同0.8%増）となりました。これは主に利益剰余金が20百万円、その他有価証券評価差額金が9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3億24百万円減少し、6億90百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、32百万円となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益94百万円、減価償却費84百万円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額1億29百万円、法人税等の支払額54百万円、たな卸資産の増加額47百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億71百万円となりました。支出の主な要因は定期預金の純支出2億3百万円、有形固定資産の取得による支出55百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、21百万円となりました。支出の主な要因は配当金の支払額19百万円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は2百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,720,000
計	12,720,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2020年4月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,896,000	3,896,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,896,000	3,896,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年12月1日～ 2020年2月29日	-	3,896,000	-	671,787	-	717,689

(5) 【大株主の状況】

2020年2月29日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
杉浦 武	愛知県碧南市	441	13.68
杉浦 求	愛知県碧南市	425	13.19
旭化学工業取引先持株会	愛知県安城市城ヶ入町広見133-3	211	6.56
株式会社三幸商会	愛知県名古屋市千種区内山3-3-2	151	4.70
近藤 忠彦	愛知県碧南市	119	3.71
岡崎信用金庫	愛知県岡崎市菅生町字元菅41	110	3.41
杉浦 誠	愛知県碧南市	93	2.90
山田 春男	東京都世田谷区	84	2.61
株式会社マキタ	愛知県安城市住吉町3-11-8	77	2.39
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC (常任代理人 株式会社三菱UF J銀行)	225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK 10286, U.S.A (東京都千代田区丸の内2-7-1)	45	1.42
計	-	1,761	54.56

(注) 上記のほか、自己株式が668千株あります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 668,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,226,200	32,262	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	-
発行済株式総数	3,896,000	-	-
総株主の議決権	-	32,262	-

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
旭化学工業(株)	愛知県碧南市港南 町二丁目8番地14	668,100	-	668,100	17.15
計	-	668,100	-	668,100	17.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285,693	1,225,453
受取手形及び売掛金	1,067,082	1,189,715
商品及び製品	174,176	202,987
仕掛品	179,256	178,493
原材料及び貯蔵品	128,778	150,169
その他	142,128	167,990
貸倒引当金	740	620
流動資産合計	2,976,375	3,114,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	531,841	511,683
機械装置及び運搬具(純額)	259,003	280,324
土地	883,354	887,404
その他(純額)	88,958	60,555
有形固定資産合計	1,763,158	1,739,968
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	72,200	87,555
繰延税金資産	1,570	1,392
長期預金	297,730	234,060
その他	89,259	92,320
貸倒引当金	3,059	3,059
投資その他の資産合計	457,701	412,269
固定資産合計	2,234,697	2,166,822
資産合計	5,211,073	5,281,012
負債の部		
流動負債		
買掛金	802,645	821,739
未払法人税等	32,473	27,377
賞与引当金	35,437	64,177
役員賞与引当金	7,500	3,750
その他	317,413	308,433
流動負債合計	1,195,469	1,225,477
固定負債		
繰延税金負債	105,545	114,022
役員退職慰労引当金	40,246	41,771
その他	3,843	1,904
固定負債合計	149,635	157,698
負債合計	1,345,105	1,383,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,300,998	2,321,830
自己株式	298,844	298,844
株主資本合計	3,403,879	3,424,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,363	34,214
為替換算調整勘定	437,725	438,911
その他の包括利益累計額合計	462,088	473,125
純資産合計	3,865,968	3,897,837
負債純資産合計	5,211,073	5,281,012

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 9月 1日 至 2019年 2月28日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 9月 1日 至 2020年 2月29日)
売上高	4,154,341	4,299,632
売上原価	3,765,088	3,876,697
売上総利益	389,252	422,934
販売費及び一般管理費	344,991	351,568
営業利益	44,261	71,365
営業外収益		
受取利息	15,047	14,498
受取配当金	249	231
為替差益	11,576	1,317
その他	12,805	8,119
営業外収益合計	39,679	24,167
営業外費用		
支払利息	282	267
営業外費用合計	282	267
経常利益	83,657	95,266
特別利益		
固定資産売却益	370	39
投資有価証券売却益	11,806	-
特別利益合計	12,177	39
特別損失		
固定資産売却損	3,055	858
固定資産除却損	428	356
特別損失合計	3,484	1,215
税金等調整前四半期純利益	92,349	94,090
法人税、住民税及び事業税	60,396	49,478
法人税等調整額	4,691	4,412
法人税等合計	55,705	53,891
四半期純利益	36,644	40,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,644	40,199

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	36,644	40,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,426	9,850
為替換算調整勘定	52,625	1,186
その他の包括利益合計	80,051	11,036
四半期包括利益	43,407	51,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,407	51,236
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	92,349	94,090
減価償却費	118,674	84,817
賞与引当金の増減額(は減少)	16,989	28,814
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3,750	3,750
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,357	1,525
貸倒引当金の増減額(は減少)	170	120
受取利息及び受取配当金	15,296	14,730
支払利息	282	267
投資有価証券売却損益(は益)	11,806	-
為替差損益(は益)	2,495	1,451
有形固定資産売却損益(は益)	2,684	818
有形固定資産除却損	428	356
売上債権の増減額(は増加)	207,728	129,668
たな卸資産の増減額(は増加)	88,410	47,879
その他の流動資産の増減額(は増加)	23,076	17,861
仕入債務の増減額(は減少)	155,133	18,545
未払費用の増減額(は減少)	24,917	13,290
未払消費税等の増減額(は減少)	12,564	6,428
その他の流動負債の増減額(は減少)	4,850	6,587
その他	-	9
小計	119,281	14,058
利息及び配当金の受取額	12,452	8,094
利息の支払額	282	267
法人税等の支払額	60,343	54,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,106	32,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	124,509	284,798
定期預金の払戻による収入	125,832	81,610
投資有価証券の取得による支出	11,092	1,263
投資有価証券の売却による収入	19,674	-
その他投資等の取得による支出	9,811	9,477
有形固定資産の取得による支出	146,153	55,595
有形固定資産の売却による収入	7,267	579
無形固定資産の取得による支出	110	2,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	138,903	271,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	308	1,955
配当金の支払額	12,893	19,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,202	21,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,995	797
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	110,994	324,706
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,229	1,015,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,069,235	690,991

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
給与賞与	79,521千円	80,344千円
荷造運搬費	75,574	70,451
賞与引当金繰入額	6,396	7,367
役員賞与引当金繰入額	3,750	3,750
退職給付費用	1,195	1,302
役員退職慰労引当金繰入額	1,357	1,525
貸倒引当金繰入額	170	120

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
現金及び預金勘定	1,331,487千円	1,225,453千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	262,252	534,462
現金及び現金同等物	1,069,235	690,991

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月22日 定時株主総会	普通株式	12,911	4.00	2018年8月31日	2018年11月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月12日 取締役会	普通株式	9,683	3.00	2019年2月28日	2019年5月20日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月28日 定時株主総会	普通株式	19,367	6.00	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月13日 取締役会	普通株式	9,683	3.00	2020年2月29日	2020年5月18日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年9月1日 至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,081,235	1,797,501	275,604	4,154,341	-	4,154,341
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	99,508	768	100,276	100,276	-
計	2,081,235	1,897,010	276,372	4,254,617	100,276	4,154,341
セグメント利益又は損失 ()	54,109	150,172	54,160	41,901	2,359	44,261

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年9月1日 至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,147,135	1,880,339	272,156	4,299,632	-	4,299,632
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	32,831	-	32,831	32,831	-
計	2,147,135	1,913,171	272,156	4,332,463	32,831	4,299,632
セグメント利益又は損失 ()	27,603	142,169	44,573	69,993	1,372	71,365

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額	11円35銭	12円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	36,644	40,199
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	36,644	40,199
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,227	3,227

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年4月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 9,683千円
- (ロ) 1株当たりの金額 3円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年5月18日

(注) 2020年2月29日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主もしくは登録株式質権者に対し支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月13日

旭化学工業株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森内 茂之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古田 賢司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭化学工業株式会社の2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭化学工業株式会社及び連結子会社の2020年2月29日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。